

第8グループ【生涯学習・スポーツ分野】

生涯学習・スポーツ分野

みなとタウンフォーラム
第8グループ

第8グループ[メンバー]

新井 彩花	大澤 康太郎	河内 ルミ
高橋 美那	中村 豊	藤澤 信一郎
伏谷 承悟	古木 雅夫	松澤 佳郎
満生 達二	葭原 滋男	

※メンバーは五十音順



令和5(2023)年3月23日

提言にあたって

第8グループ【生涯学習・スポーツ分野】

私たち第8グループでは、生涯学習・スポーツ分野について、「生涯学習」「スポーツ」「図書館」の3つのテーマに分け、全8回にわたり、議論を重ねました。

近年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機に、新しい生活様式が定着し、働き方、暮らし方、趣味など、人々のライフスタイルや価値観が多様化しています。スポーツ分野では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されたことを機に、スポーツに対する興味や関心がより一層高まるとともに、コロナ禍を通じて健康に対する意識の高まりも見られています。また、スマートフォンなどの携帯情報端末の普及に合わせ、5GやVR技術の進化など、デジタル社会の進展は、区民生活に大きな変化をもたらしています。そうした社会変化も踏まえて、今回提言を取りまとめました。

生涯学習のテーマでは、多様な個性や価値観を尊重し、誰もが、いつでも、どこでも、自主的な学びができるまちをめざして、施策の方向性を考えました。

区民のニーズにあった学習内容を充実するだけでなく、学んだ事を生かすため、区民の「学びたい」と「教えた（得意分野を活用したい・学んだことを生かしたい）」をマッチングできる仕組みをつくるといった具体的な取組も考えました。

スポーツのテーマでは、誰もが自分にあったスポーツ活動に気軽に楽しく参加でき、トップアスリートとの交流やパラスポーツ体験などを通じてスポーツへの興味、関心が湧き、多様性の理解が広がるまちをめざし、取組を考えました。

まずは、スポーツに親しむ環境やきっかけをつくるのが大切です。スポーツの場の充

実やトップアスリートとの交流機会を拡充することで、より身近にスポーツを感じることができ、区民の健康につながると考えています。

図書館のテーマでは、本の貸し出しを行うだけでなく、幅広い世代が学び合い交流する場としての活用や電子書籍サービスの充実など、生涯を通じて知的好奇心や探求心があふれるまちをめざし、施策の方向性を考えました。

子どもから大人まで年齢や障害の有無に関わらず、多様な人々に「読書」に慣れ親しんでもらうため、おはなし会や朗読会の充実、新刊図書紹介や作家によるトークイベントの開催など、本の貸出しに留まらない、学びの場や情報発信拠点としての図書館サービスの拡充が必要です。

3つのテーマに共通する課題として、生涯学習講座、スポーツイベント、電子書籍サービスなど、区の取組をより多くの人に知ってもらう仕組みが必要です。ホームページ等既存の発信方法だけでなく、SNSの活用など積極的な広報活動を進めていく取組が重要です。

さらに、広報活動も含め、私たちが掲げた将来像の実現に向けては、行政（港区）だけで取り組むことには限界があります。町会・自治会や市民団体、民間企業、大学など、多様な主体と連携し、取組を推進していくことが大切だと私たちは考えています。

この提言が、港区基本計画に反映され、生涯学習、スポーツ、図書館をより身近に感じ、区民が心身ともに健康で豊かさを享受できるまちになることを期待します。今回のみならず、タウンフォーラムをきっかけに、私たちも今後区の事業等へ意欲的に参加していきたいと思っています。

提言の体系

具体的な取組

【テーマ1】 生涯学習	<ul style="list-style-type: none">● いつでも気軽に生涯学習施設を活用できるよう周知し、区民の参加をサポートしていく● 区民が学んだことを生かす場と交流の充実を図る● 国際色豊かで多様な区民のニーズにあった、生涯学習で取り組みたい学びを拡充していく
【テーマ2】 スポーツ	<ul style="list-style-type: none">● 誰もが気軽に参加したいときに自分に合ったスポーツに親しむ環境やきっかけをつくり、健康増進につなげる● 文化の違いや国籍、年齢、障害の有無に関わらずスポーツを通じて多様な人の交流機会を創出する● 既にある港区のスポーツ活動をより多くの人に知ってもらうための仕掛けをつくる
【テーマ3】 図書館	<ul style="list-style-type: none">● 利用者の多様なニーズに応え、効率よく本を借りられる仕組みをつくる● 本の貸出しだけでなく、学びの場や情報の発信拠点として図書館サービスを拡充する● 電子書籍で取り扱うタイトルを拡充し、サービスの認知度の向上を図る● 子どもから高齢者・障害者など多様な人々に「読書」に慣れ親しんでもらうきっかけをつくる

第1グループ
【街づくり分野】

第2グループ
【防災・生活安全分野】

第3グループ
【環境・サイエンス分野】

第4グループ
【地域・コミュニティ分野】

第5グループ
【国際化・文化分野】

第6グループ
【産業・観光分野】

第7グループ
【子育て・教育分野】

第8グループ
【生涯学習・スポーツ分野】

第9グループ
【福祉・保健分野】

生涯学習で学んだことを生かす場とニーズにあった学びの充実

1 計画最終年度末(令和8年度末)における港区の将来像

(1) 「多様な価値観を持つ港区民の誰もが、いつでも、どこでも気軽に自主的な学びができるまち」

(2) 「国際色豊かで多彩な人々がいる港区ならではの学びの場づくりができるまち」

多様な文化と人が共生する港区で、性別や国籍、年齢、障害の有無に関わらず、区民の多様な個性・価値観を尊重し、誰もが、いつでも、どこでも、気軽に、楽しく学習することができ、その成果を生かすことができるまちをめざす。

2 踏まえるべき社会変化

核家族化、働き方の変容・就労形態の変化、デジタル化、新型コロナウイルスの感染拡大の影響などにより、人々のライフスタイルが多様化するとともに、個人の価値観や趣味、興味も多様化している。

- 働き方の変容：「パラレルキャリア」「リスクリング」など、キャリアの考え方や価値観が大きく変化
- 核家族化・少子高齢化：子育て家庭を取り巻く状況や家族をめぐる変化
- 国際化・グローバル化：多くの外国人が暮らす街であり、異文化交流や他国の人たちとコミュニケーションをとる機会も増える
- ダイバーシティ&インクルージョン：多様な人々の個性が尊重される（ジェンダーレス・エイジレスなどといったボーダーレス）
- 人とのつながりの希薄化：近所付き合いの程度の低下、日常的な地域における交流の機会が減少
- デジタル化：Society5.0によるIoTやAI（人工知能）、ビッグデータなど新しい技術が登場し、講座の動画配信など、ICTの活用による生涯学習・社会教育も進められている

3 実現に向けた課題

(1) 区が実施する生涯学習に関する取組が区民に知られていない

- 生涯学習の取組そのものが実施されていることが知られていない
- どこで、どのようなイベントが行われているのか、参加方法なども知られていない
- 生涯学習講座の内容についてアンケートなどにより利用者の意見を十分に聞く必要がある
- 参加しやすい時間の配慮が足りていない

(2) 自分たちが学びたい分野やメニューが十分でない

- 生涯学習のテーマを充実させる必要がある（例 港区の地域、魅力を知ってもらう、障害者学習支援など）
- 年齢の垣根を越えた、世代間交流につながる学びを実施する必要がある
- 港区ならではの学びの場が充実していない（例 異文化交流や他国の人たちとコミュニケーションなど）
- 学びのメニューなどに関する区民ニーズの把握が十分でない

(3) 学んだことを生かす場が十分でない

- 生涯学習で学んだ知識やスキルを実践で生かす機会が充実していない

4 施策の方向性

(1) いつでも気軽に生涯学習施設を活用できるよう周知し、区民の参加をサポートしていく

(2) 区民が学んだことを生かす場と交流の充実を図る

(3) 国際色豊かで多様な区民のニーズにあった、生涯学習で取り組みたい学びを拡充していく

5 具体的な取組

(1) いつでも気軽に生涯学習施設を活用できるよう周知し、区民の参加をサポートしていく

①周知の充実

- イベント（生涯学習）を多様な人々に参加いただけるよう、世代に合わせて有効な手段（SNSやホームページ、デジタルサイネージなど）で周知をする
- マンション管理組合や町会・自治会と連携し、SNSなども活用し情報を幅広く発信する
- 実際に行われた盛況なイベント（生涯学習）の様子を動画などで紹介して周知する

②参加とサポートの仕掛け

- 気軽に生涯学習に参加できるよう相談体制の充実を図る（例 来館者におすすめのイベント情報を紹介するなど、施設でコンシェルジュする方を配置する）

(2) 区民が学んだことを生かす場と交流の充実を図る

①学んだことを生かす場の充実

- 受講に対して港区から修了証を与える
- 区民の「学びたい」と「教えたい（得意分野を活用したい・学んだことを生かしたい）」をマッチングできるような仕組みをつくる

②交流する場の充実

- オープンサロンのようなリアル（対面）で交流できる場を提供する（例 芝の家）誰でも気軽に参加できる学びのイベントを開催する

③デジタル活用

- リモート開催を設けるなど、より多くの方に参加いただけるようICTやデジタルを活用する

(3) 国際色豊かで多様な区民のニーズにあった、生涯学習で取り組みたい学びを拡充していく

①仕組みとしかけ

- 学びのニーズを把握するため、アンケートなどの調査を行う（例 ライフステージ別学びのニーズ調査など）

②講座・イベント（生涯学習）内容の充実

- 人気の講座は複数回開催する
- 小さい子どもから高齢者まで、実際に体験・学習する場を充実する
- 港区の魅力を知ることができる場、港区らしいテーマ・手法を用いた講座を実施する
ライフステージ別学習を行う（例 退職者を対象とした地域を知る学習、働いている方向けのリスキリングに関する学習）

③国際色豊かで多彩な人々がいる港区ならではの講座の充実

- 外国人に対する日本を知る（学ぶ）講座の充実
- 外国人等と連携した、生きた外国語にふれる機会の創出や講座の充実
- 港区の歴史や文化を学ぶ講座の充実

6 参画と協働の推進

(1) イベント(生涯学習)のテーマを区民と一緒に企画する

- アンケートを実施するなど、区民が受講したいテーマを把握し、区民が港区職員と共に企画する

(2) 他団体と連携し、幅広いテーマのイベント(生涯学習)を行う

- 大学や企業、社会教育団体、社会福祉協議会、港区体育協会、インターナショナルスクール、大使館などと連携し、学びの充実を図る

(3) 学びを生かす場の充実、仕組みの構築

- 生涯学習での学びの修了者や得意ジャンル（例 外国語）を持つ区民を登録し、教える側になる仕組みをつくることで、活躍の場を広げる（例 子ども食堂でのイベント（生涯学習）など）
- 気軽に参加できるように、特典を設ける（例：2人以上で参加するとクーポンをもらえるなど）

スポーツに親しみ多様な人々と交流する機会の充実

1 計画最終年度末(令和8年度末)における港区の将来像

(1)「より多くの人の生活にスポーツが溶け込み、誰もが、自分にあったスポーツ活動に気軽に楽しく参加でき、健康になれるまち」

(2)「トップアスリートとのスポーツ・パラスポーツの体験・交流を通して、スポーツへの興味、関心が湧き、多様性の理解が広がるまち」

年齢や性別を問わず誰にでも親しまれ、様々な形で人々の生活の中に溶け込み、心身の健康や生活の楽しみとしてスポーツに参加できるまちをめざす。また、スポーツへの興味、心身の健康・強化だけでなく、様々な人と同じルールのもとで共に楽しむことで、自国文化・国際文化の理解、SDGsの実現など、スポーツを通じて多様性の理解を広げることがめざす。

2 踏まえるべき社会変化

価値観や趣味の多様化、デジタル化に伴い、新たなルールやスタイルで行う競技をはじめ、様々な活動をスポーツと捉え、自身の健康増進など多様な関わり方や楽しみ方が求められている。

- ・価値観の多様化：働き方・暮らし方、趣味などライフスタイル・価値観が多様化している
- ・デジタル化：Society5.0によるIoTやAI（人工知能）、5GやVR技術など、デジタル技術が進化しており、選手のパフォーマンス向上などにつながっている
- ・国際化・グローバル化：ワールドカップやオリンピック・パラリンピックなどの世界大会を通じて、スポーツのファンが増えている

3 実現に向けた課題

(1) スポーツ活動する場が十分でない

- ・気軽にスポーツをする施設、グラウンドが少ない
- ・休日の学校施設（体育館や運動場）の更なる活用が必要である
- ・区主催のスポーツイベントは、種目が限定されている
- ・スポーツセンター事業の定員・時間帯が限定的である

(2) 誰もが気軽に参加できる事業が十分でない

- ジェンダーレス・エイジレスなど垣根を超えた多世代でスポーツに親しむ機会が少ない
- パラスポーツ・ゆるスポーツが十分に浸透していない
- 健康増進のための気軽に参加できるスポーツイベントが少ない
- 企業と連携した事業が十分でない

(3) 周知・啓発が十分でない

- 区の活動の周知が十分でない
- 区事業の認知度が低い
- 健康増進の効果や重要性について周知する必要がある
- 事業の時間的制約や対象年齢など、参加のハードルが高い

4 施策の方向性

(1) 誰もが気軽に参加したいときに自分に合ったスポーツに親しむ環境やきっかけをつくり、健康増進につなげる

(2) 文化の違いや国籍、年齢、障害の有無に関わらずスポーツを通じて多様な人の交流機会を創出する

(3) 既にある港区のスポーツ活動をより多くの人に知ってもらうための仕掛けをつくる

5 具体的な取組

(1) 誰もが気軽に参加したいときに自分に合ったスポーツに親しむ環境やきっかけをつくり、健康増進につなげる

- ① スポーツの場やスポーツ指導者の確保
 - ・ 大規模商業施設などの民間施設と協働したスポーツイベントの開催
 - ・ スポーツ大会のリモート開催
 - ・ 地域のスポーツ推進委員や障害者スポーツの指導員をはじめとしたスポーツ指導者や、管理者（見守り）の育成、確保
- ② スポーツ活動に親しむきっかけづくり
 - ・ 誰もが参加できるスポーツの場づくり
 - ・ スポーツイベントに参加する特典など、イベントに参加したくなる仕組みをつくる
 - ・ スポーツ教室の充実
 - ・ 公共施設やスペースなどを活用したスポーツイベントの拡充（例 整備された道路でサイクリングを楽しむイベントなど）
- ③ スポーツを身近にし、健康増進につなげる
 - ・ 小中学校プールや校庭でのスクール教室開催
 - ・ スポーカル活動の支援の充実
- ④ 気軽に参加できる仕組みづくり
 - ・ 参加のハードルを下げた仕組みづくり（例 日中の参加はできない方（小さいお子さんを持つ家庭や平日日中に働いている方）への夕方・夜の時間のスポーツイベントの開催や、初めての方が参加しやすい仕組みづくりなど）

(2) 文化の違いや国籍、年齢、障害の有無に関わらずスポーツを通じて多様な人の交流機会を創出する

- ① トップアスリートとの交流機会の充実
 - ・ オリンピアン、パラリンピアン、プロスポーツ選手といったトップアスリートと交流機会の創出
 - ・ トップアスリートの発掘を視野に入れた交流機会の創出
- ② 国籍を問わず多様な人が垣根を越えた交流機会を創出
 - ・ パブリックビューイングの充実
 - ・ 言語や文化を越えた国際交流につながるようなスポーツイベントの開催

③パラスポーツ/ゆるスポーツ/eスポーツ

- スポーツ体験会の充実
- 乳幼児からシニアまで楽しめる運動機会の充実

(3) 既にある港区のスポーツ活動をより多くの人に知ってもらうための仕掛けをつくる

①積極的な広報活動

- 区ホームページの充実などにより、区内のスポーツ関連情報を分かりやすくワンストップで見ることができる効果的な情報の発信
- SNSによる情報発信の充実
- ホームページやSNSなどで施設利用者やイベント参加者の体験談公開
- 区だけでなく、他スポーツ団体が開催しているスポーツ関連活動のPR

6 参画と協働の推進

(1) 多様な主体の「協働」によるスポーツ大会の企画

- 区民と区の双方がお互いに対等な立場で企画や準備、運営などに関わる多様な主体の「協働」によるスポーツ大会を企画する

(2) 地域のスポーツ活動への協力

- 地域（スポーツサークル・町会・自治会・マンション管理組合など）で行われる様々なスポーツ活動へのサポートを行う

(3) 他団体との連携

- 普段スポーツに関わらない団体も含め、様々な団体（港区スポーツふれあい文化健康財団、港区体育協会、社会福祉協議会、学校、企業など）と連携し、スポーツに触れる機会の充実を図る

利用者の多様なニーズに応じた図書館サービスの拡充

1 計画最終年度末(令和8年度末)における港区の将来像

「図書館が学びの場や気軽に集える場として活用され、交流や情報の受発信拠点としてデジタル化が加速し、生涯を通じて知的好奇心が刺激されるまち」

本を読みたい、勉強したい区民が集い、学び合う場や幅広い世代の交流ができる場の創出をめざす。

また、図書館が多種多様な資料や情報が集積する拠点となるよう、電子図書の推進を進めるなど、生涯を通じて知的好奇心や探求心があふれるまちをめざす。

2 踏まえるべき社会変化

デジタル化、動画普及による紙媒体離れ、価値観の多様化など、社会環境が大きく変化し、図書館に対するニーズも複雑化・多様化している。

- デジタル化：携帯情報端末や公衆無線 LAN の普及により、インターネット環境が充実し、電子書籍の導入も進められている
- 読書離れ・活字離れ：スマートフォンやタブレット端末の普及、生活環境の変化や様々なメディアの発達・普及などを背景として「読書離れ」「活字離れ」が指摘されている
- 価値観の多様化：働き方・暮らし方、趣味などライフスタイル・価値観が多様化している

3 実現に向けた課題

(1) 図書館の魅力やサービスの周知が十分でない

- 利用できるサービス内容や仕組みの周知が十分でない
- 図書館の魅力や有用性、読書の良さ、関心を高めるための取組が十分でない
- これまで図書館を利用していなかった区民への利用拡大を図る施策が十分でない
- 外国人への対応が手薄い
- 学生がおしゃべりしながら勉強できるスペースが少ない
- 人気図書の貸出しの回転率が悪い

(2) 電子書籍の普及が進んでいない

- 電子書籍の認知度が低く、普及が十分でない
- 電子書籍で借りたい本が借りられない（待ち期間が長い）

(3) 活字離れ、読書離れが進んでいる

- 特に若い世代を中心に、動画コンテンツが普及したことにより、活字離れが起きている
- 読書よりもマンガ・ゲームへの風潮となっている

4 施策の方向性

- (1) 利用者の多様なニーズに応え、効率よく本を借りられる仕組みをつくる
- (2) 本の貸出しだけでなく、学びの場や情報の発信拠点として図書館サービスを拡充する
- (3) 電子書籍で取り扱うタイトルを拡充し、サービスの認知度の向上を図る
- (4) 子どもから高齢者・障害者など多様な人々に「読書」に慣れ親しんでもらうきっかけをつくる

5 具体的な取組

(1) 利用者の多様なニーズに応え、効率よく本を借りられる仕組みをつくる

- ①施設に関すること
 - 図書館の開館時間の見直し（働いている方や子育てしている方などが来館しやすい時間帯）
- ②サービスに関すること
 - 利用者の趣味や嗜好に合った書籍・コンテンツを豊富に取り揃える
 - 来館、貸出しなどの図書館利用に応じて特典が得られ読書への関心を向上させる仕組みづくり
 - 利用者の意見を踏まえた、効率的な本の貸出しができるルールづくり
- ③効率良く本を借りられる仕組み
 - 新刊や人気図書の充実などにより電子書籍サービスを更に推進する
 - 返却BOXの拡充などにより、本の貸出しを効率的に循環する

(2) 本の貸出しだけでなく、学びの場や情報の発信拠点として図書館サービスを拡充する

- ①イベントの充実や交流機会の提供
 - 新刊図書の紹介や作家によるトークイベントの開催
 - リモート参加可能なイベントの開催
 - 本のリサイクルの充実
 - 「何でも港区豆知識データ展示コーナー」の設置
- ②来館モチベーション向上のための工夫を行う
 - 図書館に併設しているカフェなどの魅力も併せて発信し、来館へのモチベーション向上と図書館の価値や魅力を高める工夫をする
- ③周知・啓発の充実
 - 港区立図書館のWEBサイトを活用した情報発信を強化する
 - 図書館機能やサービスを利用した人の感想や口コミを区のWEBサイトやSNSなどで発信する
 - マンション掲示板や図書館入り口に図書館サービスなどの情報を掲示し、図書館の魅力を発信する

(3) 電子書籍で取り扱うタイトルを拡充し、サービスの認知度の向上を図る

- ①多様な主体と連携した電子書籍の充実
 - ・電子書籍で取り扱うタイトルを拡充する
 - ・区内小中学校と電子書籍を活用した連携（電子書籍の普及）
- ②電子書籍のPR
 - ・電子書籍のサービス内容や予約方法などシステムの使用方法を分かりやすく伝える

(4) 子どもから高齢者・障害者など多様な人々に「読書」に慣れ親しんでもらうきっかけをつくる

- ①子どもや高齢者、障害者などの大人向けの読み聞かせ機会の充実
 - ・子ども向けにおはなし会を実施する
 - ・子どもによるおはなし会を行うなど、本に親しむ場をつくる
 - ・大人向け朗読会や録音図書を充実させる（例 学生による朗読の機会など）

6 参画と協働の推進

(1) 民間企業や大学などと連携し学びの場や交流の場の充実を図る

- ・多様な主体（専門図書館、大学、民間企業など）と連携し、利用者の利便性の向上を図ることでより身近に図書に触れる機会をつくる
- ・より親しまれる図書館を目指し、幅広く利用者ニーズを把握し、図書館サービスのより良い改善につなげていく

開催経過

回数	開催日時	内容
第1回	令和4年10月11日(火) 18時30分～20時30分	<ul style="list-style-type: none">事務局紹介グループ会議の進め方について分野における現状と課題について検討テーマの選定リーダー、サブリーダーの選出
第2回	令和4年10月25日(火) 18時30分～20時30分	<ul style="list-style-type: none">第1回グループ会議の振り返り検討テーマ「生涯学習」に関する議論 検討テーマの確認 将来像(めざすまちの姿)と社会変化の検討 課題の検討と方向性の確認 取組内容と区民参画の検討
第3回	令和4年11月8日(火) 18時30分～20時30分	<ul style="list-style-type: none">第2回グループ会議の振り返り検討テーマ「スポーツ」に関する議論 検討テーマの確認 将来像(めざすまちの姿)と社会変化の検討 実現に向けた課題と施策の方向性 具体的な取組と区民参画の検討
第4回	令和4年11月15日(火) 18時30分～20時30分	<ul style="list-style-type: none">第3回グループ会議の振り返り検討テーマ「図書館」に関する議論 将来像(めざすまちの姿)と社会変化の検討 実現に向けた課題と施策の方向性 具体的な取組と区民参画の検討
第5回	令和4年12月6日(火) 18時30分～20時30分	<ul style="list-style-type: none">第2回～第4回の内容確認についてテーマ「生涯学習」のまとめ
第6回	令和4年12月20日(火) 18時30分～20時30分	<ul style="list-style-type: none">テーマ「スポーツ」のまとめテーマ「図書館」のまとめ
第7回	令和5年1月10日(火) 18時30分～20時30分	<ul style="list-style-type: none">提言書(案)について
第8回	令和5年1月24日(火) 18時30分～20時30分	<ul style="list-style-type: none">提言書案の調整について(テーマ1～3)その他資料の確認について 「提言にあたって」のページ 提言書発表スライド

第 8 グループ

生涯学習・スポーツ分野

テーマ1 生涯学習で学んだことを活かす場とニーズにあった学びの充実

テーマ2 スポーツに親しみ多様な人々と交流する機会の充実

テーマ3 利用者の多様なニーズに応じた図書館サービスの拡充



■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
みなとタウンフォーラム

令和5年3月23日

はじめに

第 8 グループ
生涯学習・スポーツ分野

この提言が、港区基本計画に反映され、生涯学習、スポーツ、図書館をより身近に感じ、区民が心身ともに健康で、いきいきと暮らせるまちになることを願い3つのテーマで議論しました。



■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
みなとタウンフォーラム



- 働き方の変容(リスキリング等)
- 国際化・グローバル化
- ダイバーシティ&インクルージョン
- デジタル化(動画配信)

将来像

FUTURE

多様な価値観を持つ港区民の誰もが、いつでも、どこでも気軽に自主的な学びができるまち
国際色豊かで多彩な人々がいる港区ならではの学びの場づくりができるまち

方向性

①気軽に生涯学習施設を活用できるように周知し、参加をサポート

②学んだことを活かす場、交流の場の充実

③区民のニーズにあった学習内容の充実

取組



世代に合わせた有効な手段での周知(SNS等)を充実
気軽に生涯学習に参加できるように相談体制の充実

区民の「**学びたい**」と「**教えたい**」(得意分野を活用したい・学んだことを活かしたい)とを**マッチング**できるような仕組みづくり

ライフステージ別学びのニーズ調査などの実施
小さい子どもから高齢者まで学習する場の充実

参画と協働



- ・イベント(生涯学習)のテーマを区民と区と一緒に企画する
- ・大学、企業、社会教育団体、大使館などと連携し、幅広いテーマの学びの充実を図る
- ・生涯学習の学びの修了者や得意ジャンルを持つ区民が活躍する場をつくる



- 価値観の多様化(ライフスタイル)
- デジタル化(IoT、AI、VR技術など)
- 国際化・グローバル化(オリンピック・パラリンピックやワールドカップなどの世界大会)

将来像

FUTURE

より多くの人の生活にスポーツが溶け込み、誰もが自分にあったスポーツを気軽に楽しく参加でき、健康になれるまち
トップアスリートとのスポーツ・パラスポーツの体験・交流を通して、スポーツへの興味関心が湧き、多様性の理解が広がるまち

方向性

①スポーツに親しむ環境やきっかけづくり

②スポーツを通じて多様な人との交流機会を創出

③港区のスポーツ活動の周知の充実、仕掛けづくり

取組



スポーツの場やスポーツ指導者の確保
スポーツ活動に親しむきっかけをつくり、**健康増進**にもつなげる

トップアスリートとの交流機会の充実
言語や文化を越えた国際交流につながるようなスポーツイベントの開催

区ホームページやSNSを活用した情報の充実
夕方・夜の時間のスポーツイベントの開催など、初めての方が参加しやすい仕組みづくり

参画と協働



- ・区民が区と対等な立場で企画、準備、運営に関わるなど多様な主体との「協働」によるスポーツ大会を企画
- ・地域(スポーツサークル・町会・自治会・マンション管理組合など)のスポーツ活動への協力
- ・スポーツに関わる様々な団体(学校、企業、財団、港区体育協会など)等と連携し、スポーツに触れる機会の充実を図る



将来像
FUTURE

図書館が学びの場や気軽集える場として活用され、交流や情報の発信拠点としてデジタル化が加速し、生涯を通じて知的好奇心が刺激されるまち



○デジタル化(スマートフォンや公衆無線LANの普及によるインターネット環境の充実)
○読書離れ・活字離れ(メディアの発達・普及)

方向性

①効率よく本を借りられる仕組みづくり

②学びの場や情報の発信拠点として図書館サービスを拡充

③電子書籍で取り扱うタイトルの拡充と認知度の向上

④多様な人々に「読書」に慣れ親しんでもらうきっかけづくり

取組



利用者の意見を踏まえた、**効率的な本の貸出**ができるルールづくり返却BOXの拡充などにより、本の貸し出しを効率的に循環

新刊図書の紹介や作家によるトークイベントなど、イベントの充実や来館のモチベーション向上につながる取組の充実

電子書籍で取り扱うタイトルを拡充し、サービス内容や利用方法をわかりやすく伝える

子ども向けのおはなし会や大人向けの朗読会、録音図書の充実など、本に親しむ場をつくる

参画と協働



○民間企業や大学などと連携し学びの場や交流の場の充実を図る
・多様な主体(専門図書館、大学、民間企業など)と連携し、利用者の利便性の向上を図る
・幅広く利用者ニーズを把握し、図書館サービスのよりよい改善につなげる

広報活動の充実

- ・ 区の取組をより多くの人に知ってもらう仕組みが必要
- ・ SNS等を活用した積極的な広報活動を進める

多様な主体との連携

- ・ 行政(港区)だけで取り組むことに限界がある
- ・ 町会・自治会、民間企業、大学と連携した取組を推進



まとめ

この提言が、港区基本計画に反映され、生涯学習、スポーツ、図書館をより身近に感じ、区民が心身ともに健康で、いきいきと暮らせるまちになることを願っています。そして、私たちも今後、区政運営や区の事業に意欲的に参加していきたいと思っています。



会議録

みなとタウンフォーラム 生涯学習・スポーツグループ（第8グループ）

会議録（第1回）

■開催日時・場所・出席者

日時：令和4年10月11日（火）18時30分～20時30分

会場：港区役所9階 915会議室

メンバー：10名（欠席1名）

事務局：対応部門関係課長3名（教育長室長、生涯学習スポーツ振興課長、図書文化財課長）、
企画課グループ担当3名、サポートメンバー2名、委託事業者2名

■次第

（開会）

- 1 事務局紹介
- 2 グループ会議の進め方について
- 3 分野における現状と課題について
- 4 検討テーマの選定
- 5 リーダー、サブリーダーの選出
- 6 その他

（閉会）

■配付資料

資料番号	資料名
1	事務局名簿
2	グループ会議の検討スケジュール
3	提言の構成について
3-2	提言の取りまとめイメージ
3-3	前回みなとタウンフォーラム提言書
4	検討希望テーマ集計結果
5	リーダー、サブリーダーの役割について

■貸与資料

資料番号	資料名
1	港区基本計画・港区実施計画

■会議要旨

(開会)

事務局より、第1回グループ会議開催に当たっての挨拶及び開会宣言を行った。

1 事務局紹介

事務局より、配布資料1に基づき、事務局メンバーの紹介を行った。

2 グループ会議の進め方について

○検討スケジュール

事務局より、配布資料2に基づき、活動日程や内容について説明を行った。

○提言の構成

事務局より、配布資料3、3-2、3-3に基づき、提言の構成について説明を行った。

3 分野における現状と課題について

関係課長より、港区基本計画、令和3年度港区教育委員会事務局の権限に属する事務の管理及び評価（令和2年度）報告書に基づき、生涯学習やスポーツ、図書についての説明を行った。

(主な意見等)

参加者：読書活動の推進や学びの未来応援施策は、生涯学習分野の施策になるのか。また、令和2年度の提言は、具体的にどの事業で実施しているのか。

事務局：読書活動の推進や学びの未来応援施策は、学校向けの施策のため生涯学習やスポーツに直接は関わらないが、意見等があれば反映していく場合もある。また、具体的な反映箇所については次回のグループ会議までに資料を準備する。

参加者：基本計画と提言は一致していないといけないのか。

事務局：必ずしも一致している必要はない。生活者の視点で新たな意見も頂きたい。

4 検討テーマの選定について

事務局より、配布資料4に基づき、参加者へ事前に調査した検討希望テーマの集計結果について説明を行った。集計結果としては、多い順に「生涯学習の機会や学びの成果を生かす機会の充実」「誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進」「スポーツ活動を支援する担い手の育成と団体等との連携」となるが、スポーツの項目が二つになるため、大きなテーマとして、「生涯学習」「スポーツ」「図書館」の3つに絞った。

集計結果を踏まえて、検討テーマについて議論が行われた。

(主な意見等)

○生涯学習分野について

参加者：イベントやセミナーの実施内容はどのように決めているのか。アンケートを取って需要があるものを実施すると思う。

参加者：区がどのような生涯学習事業を実施しているか知らない。周知の仕方を工夫するべきだと思う。

参加者：区内の大学と連携し、広く浅く学ぶ機会を増やすことで学びを充実させたい。また、子ども向けや高齢者向けなど対象者を限定するのではなく、若者と高齢者が一緒に学べる機会があるといいのではないか。

参加者：区立の飯倉小学校跡地は生涯学習と関係した施設なのか。また、高齢者の学習施設で廃校を利用した施設はあるか。

事務局：旧飯倉小学校は、学童クラブと保育施設等となっている。旧神応小学校は、高齢者向けの施設であるいきいきプラザや保育施設等になる予定であるまた、桜田小学校跡地にある生涯学習センターと青南小学校付近にある青山生涯学習館の二つは区の生涯学習施設である。

参加者：港区について研究できるような機会をつくることで、愛着が湧き、港区の知識をつけることにも繋がる。

参加者：港区は大使館が多いので連携すべきだと思う。外国の方と交流する機会をつくることで言語や文化も学習できるだけでなく、外国の方も日本の文化を学べるようなふれあいの機会をつくると思う。

参加者：学んだことを活かせるような場所をもっと充実させることで学ぶ意欲がより湧くと思う。

参加者：総合的な学習のとき間に社会人がもっている専門的な知識やスキルを学生に提供する機会を作ってはどうか。教える側も教えるスキルを身に着けることができるのではないだろうか。

参加者：区は生涯学習について何を課題だと捉えているのか。

事務局：区では学んだ人と学びたい人をつなぐ事業「まなび屋」を実施しているが、マッチング機能の部分に課題を抱えている。また、意見があったとおり、周知方法についてより工夫していく必要がある。

参加者：生涯学習とは、一人の一生涯という意味ではなく、子どもの学びの場や港区の歴史の研究なども含めて広い意味で生涯学習と捉えてよいか。

事務局：その認識で問題ない。

○スポーツ分野について

参加者：学校の休日を利用して、大人や学生が楽しめるスポーツの場の提供ができると思う。

参加者：ジェンダーレスやボーダーレスなど垣根を越えて、みんなが参加できるような「パラスポーツ」や「ゆるスポーツ」の体験を実施し、交流できる場を提供してみてもどうか。

参加者：スポーツができる施設などの周知を工夫して発信すると思う。

参加者：私は国際交流に関心がある。外国の方への周知を工夫してはどうか。

参加者：港区主催で様々な種目のスポーツイベントを開催し、活動の告知や周知に力をいれて欲しい。

参加者：スポーツセンターのイベントに応募しているがなかなか当選しないため、定員を増やして欲しい。また、子どもを保護者が連れていきやすい時間帯での開催を検討して欲しい。コーチ経験者やアスリート経験者をもっと活用できるよう、トップアスリートの人材バンクをつくるのはどうか。

○図書館の分野について

参加者：視覚障害を持つ人は、音声図書が充実していないと読書ができないため、電子図書館の周知に力をいれて欲しい。

参加者：人気のある本は、借りるのに時間がかかってしまうため、工夫していただきたい。

参加者：港区の図書館では、通常貸出期間が2週間と決まっているが、電子図書館で本を借りる場合は貸出期間を延ばすのはどうか。また、雑誌をより充実させるのはどうか。

参加者：三田図書館にあるコワーキングスペースについて、より多くの方に利用してもらえよう、企業や個人への周知に力を入れてみてはどうだろうか。

5 リーダー、サブリーダーの選出について

リーダー、サブリーダーの選出が行われた後、リーダー、サブリーダーから、就任挨拶が行われた。

6 その他

事務局より次回の開催日程等の確認を行い、次回までに「生涯学習の将来像」について、現状や課題に関する意見を各自まとめることが確認された。

(閉会)

事務局が第1回グループ会議の閉会を告げ、終了。

以上

みなとタウンフォーラム
生涯学習・スポーツグループ（第8グループ）

会議録（第2回）

■開催日時・場所・出席者

日時：令和4年10月25日（火）18時30分～20時30分

会場：港区役所9階 911会議室

メンバー：9名（欠席2名）

事務局：対応部門関係課長1名（教育長室長）、企画課グループ担当2名、サポートメンバー2名、委託事業者2名

■次第

（開会）

- 1 前回（第1回グループ会議）の振り返り
- 2 第2回グループ会議の進め方について
- 3 検討テーマに関する議論
 - ・検討テーマの確認
 - ・将来像（めざすまちの姿）と社会変化の検討
 - ・課題の検討と方向性の確認
 - ・取組内容と区民参画の検討

4 その他

（閉会）

■配付資料

資料番号	資料名
1	第1回グループ会議 会議録
2	第2回グループ会議の進め方
3	提言の構成について

■貸与資料

資料番号	資料名
1	港区基本計画・港区実施計画

■会議要旨

(開会)

リーダーから、第2回グループ会議開催に当たっての挨拶及び開会宣言を行った。

1 前回(第1回グループ会議)の振り返り

事務局から、配布資料1に基づき、第1回のグループ会議の振り返りを行った。

第1回のグループ会議で参加者から質問があった2点について回答した。1点目は令和元年度の提言を事業で実際に反映されている箇所について、港区基本計画P378、379を基に事務局から説明した。2点目は、それぞれの検討テーマごとにメンバーを割当てして議論する案が示された件についてであるが、検討テーマの全てにおいて、メンバー全員の様々な意見を交えて会議を進めていく必要があると考えているため、テーマごとにメンバー決めを行うことはしないと回答した。

2 第2回グループ会議の進め方について

事務局から、配布資料2に基づき、第2回のグループ会議の進め方についての説明を行った。

3 検討テーマに関する議論

(1) 検討テーマの確認

第2回グループ会議では、付箋に「社会変化」、「将来像」、「取組内容」、「区民参画」についての意見をそれぞれ記載し、発表することとなった。

事務局から生涯学習の現状と課題について、「生涯学習講座提供事業『まなび屋』」の説明を行った。

(主な意見等)

参加者：まなび屋に関する意見を出した方が良いのか。

事務局：話題に出して頂きたいが、意見をまなび屋だけに絞る必要はない。

参加者：生涯学習センターや青山生涯学習館でまなび屋は、利用できるのか。

事務局：区の施設も利用可能。講師と利用者が利用しやすい場所で実施してもらう。

参加者：どのような講座が人気なのか。

事務局：生け花や書道などが人気のある講座だが、新型コロナウイルスの影響で講座の利用が激減した講座もある。

参加者：まなび屋の講座の利用に当たっては、3人以上参加者が必要である点や利用者が会場の調整を行わなければならない点などを課題に感じる。公開講座などを実施してみたいかだろうか。

参加者：区のホームページではまなび屋の掲載はあったが、まなび屋に特化したホームページはあるのか。

事務局：まなび屋に特化したホームページは作っていない。

(2) 将来像(めざすまちの姿)と社会変化の検討

○社会変化

「ジェンダーレスやボーダーレスなどのレス社会」「国際化」「財政難や生活格差などの経済関係」「YouTubeなどのデジタル社会」「少子高齢化や労働力不足」「近所付き合いの低下やコミュニケーションなどの人の繋がり」「パラレルキャリア、リスキリングなどの働き方や趣味・価値観の多様

性」等のキーワードが出た。

○将来像

参加者：自立しようとする人に対して支える人がいないと上手くいかない。お互いに自立を支えあうようなまちをめざすべきではないか。

参加者：区では様々な事業を実施しているので、多種多様な人が垣根を越えて参画できるような地域社会を作っていくべきではないか。

参加者：障害者や高齢者、職業の異なる方など多様な人が交流できる場をつくることで先々に繋がる学びができるまちを目指せるのではないか。

参加者：学べる環境を身近に作り、アウトプットできる環境が必要ではないか。

参加者：港区ならではの取組を実施するのはどうか。例えば、教員を全員ネイティブの方にすることで若年者が英語を身に着けることができるのではないか。

参加者：空いた時間に学びたいことを手軽に学べるようにし、学びの楽しさを実感できると良いと思う。

(3) 課題の検討と方向性の確認

生涯学習の主な課題として、「生涯学習施設に求められるもの(イベントの周知や仕事している人が利用しやすい時間の考慮等)」、「学んだことを生かす場の充実」、「取り組みたい学びのメニュー(既存の学びのメニューやニーズの把握)」が挙げられた。

(主な意見等)

参加者：区以外に国際交流を実施している団体はあるか。

事務局：一般財団法人港区国際交流協会も実施している。港区が主催し、大使館の担当者同士が意見交換できるような場を提供している事業もある。

(4) 取組内容と区民参画の検討

(主な意見等)

○取組内容

参加者：SNSを活用して人気のある事業の周知や告知に力を入れると良いのではないか。

参加者：受講に対して港区が認証することで学びを生かすきっかけ作りになるのではないか。

参加者：港区の歴史などを研究できるような講座をつくと良いのではないか。

参加者：困りごとや疑問を持った区民と行政をつなぐ役目をボランティアが担うのはどうか。

参加者：「芝の家」のような交流の場をもっと提供するのはいかがでしょうか。オンラインでも交流できるようにICTを活用した居場所作りができると良いと思う。

○区民参画

参加者：港区は、マンションが多いので、マンションの管理組合と連携し、事業の案内をすると良いのではないか。また、小・中学校の総合のとき間に取り上げたいテーマと講師をマッチングさせ、講座を実施できると良いと思う。

参加者：外国人ネットワークをもった区民の方をボランティアとして登録し、事業の案内や周知をしてもらうのはどうか。また、能力や技術をもった方をボランティアとして区に登録し、

得意ジャンルの人材バンクをWEBで閲覧できる仕組みを作り、参画してもらうのはどうか。

参加者：イベントの際にアンケート箱の設置や、職員と区民が事業を企画することでニーズに沿ったイベント等ができるのではないかと。また、例えば、イベントの参加者に2人以上の参加でクーポンを配付するなどの工夫により多くの人に参加していただけるのではないかと。

参加者：インターナショナルスクールや無認可保育施設、町会にイベントや事業の周知を行うとともに特色ある能力の方に講師として講座を開催して頂くのも良いのではないかと。スポーツの連盟と連携し、講座を作ったり、講師を派遣してもらったりすると良いと思う。

参加者：子ども食堂のような子どもが多く集まる場所にシニアが出向き交流できる場があれば良いと思う。

参加者：芸能人や著名人に参画していただき、生涯学習に関するイベントを実施してみてはどうか。

4 その他

リーダーより次回の開催日程等の確認を行った。

(閉会)

リーダーが第2回グループ会議の閉会を告げ、終了。

以上

みなとタウンフォーラム
生涯学習・スポーツグループ（第8グループ）

会議録（第3回）

■開催日時・場所・出席者

日時：令和4年11月11日（火）18時30分～20時30分

会場：港区役所9階 915会議室

メンバー：6名（欠席5名）

事務局：対応部門関係課長1名（教育長室長）、企画課グループ担当2名、サポートメンバー2名、委託事業者2名

■次第

（開会）

- 1 前回（第2回グループ会議）の振り返り
- 2 検討テーマに関する議論
 - ・検討テーマの確認
 - ・将来像（めざすまちの姿）と社会変化の検討
 - ・実現に向けた課題と施策の方向性
 - ・具体的な取組と区民参画の検討

3 その他

（閉会）

■配付資料

資料番号	資料名
1	第2回グループ会議 会議録
2	第3回グループ会議の進め方

■貸与資料

資料番号	資料名
1	港区基本計画・港区実施計画

■会議要旨

(開会)

リーダーより、第3回グループ会議開催に当たっての挨拶及び開会宣言を行った。

1 前回(第2回グループ会議)の振り返り

事務局から、配付資料1に基づき、第2回のグループ会議の振り返りを行った。

2 検討テーマに関する議論

(1) 検討テーマの確認

第2回グループ会議では、スポーツについて付箋に「社会変化」「将来像」「取組内容」「区民参画」についての意見をそれぞれ記載し、発表することとなった。

事務局からスポーツの検討テーマの説明や現状と課題について「総合型地域スポーツ・文化クラブ」の説明をした。

(主な意見等)

参加者：具体的にどのようなことを実施しているのか。

事務局：地域の方に運営者になってもらい、スポーツ活動を実施している。

参加者：運営費用は区が負担するのか。

事務局：立ち上げてから5年間は区から補助金が支給される。

参加者：実施するスポーツ等は誰が決めるのか。

事務局：自主運営組織になるため、実施するスポーツ等は、そのクラブで決めて実施してもらう。

(2) 将来像(めざすまちの姿)と社会変化の検討

○社会変化

第2回グループ会議の意見に加え、「情報共有ツールの進化」「メタバース」「WITHコロナ」「健康社会・長寿化」等のキーワードが出た。

○将来像

(主な意見等)

参加者：気軽にやりたいときにやりたいスポーツをできるまちをめざすべきではないか。港区内では、様々なスポーツを実施しているため、レベル感や内容、時間帯や場所など自身に合うものに上手くマッチングできると良いと思う。

参加者：個人の生活の中にスポーツを取り入れることで健康維持に繋がる。スポーツ活動を定着させることで、より港区が明るいまちになるのではないか。

参加者：小・中学生のクラブ活動や部活等で国際交流ができると良いと思う。

(3) 実現に向けた課題と施策の方向性

スポーツの主な課題として、「スポーツする場所や機会の充実」「スポーツ体験を通じた交流の推進」「スポーツ活動をより多くの人に知ってもらう」が挙げられた。

(4) 具体的な取組と区民参画の検討

○取組内容

(主な意見等)

参加者：ホームページ等に区内のスポーツ関連情報を一括して掲載することや施設利用者の体験談公開などスポーツ活動を積極的に周知する。

参加者：パブリックビューイングを実施することで、スポーツが好きな人が集まり、交流の場になると思う。

参加者：スポーツや施設の体験会を充実させることやスポーツ大会等にスポーツ選手を呼ぶことによって、スポーツに参加するきっかけ作りになるのではないかと。また、スポーツに関する出前講座や飛び入り参加できるスポーツの場を提供すると良いと思う。

参加者：民間の施設との協働や、指導者や管理者の確保を行うと良いのではないかと。

参加者：スポーツセンターのイベントに応募しているが落選することが多く、スポーツをしたい区民がいても、定員が決まっているため参加できず、スポーツを身近に感じる事が難しくなる。そのため、スポーツをもっと身近に感じられるよう工夫していただきたい。

参加者：幼児から高齢者まで誰でも楽しめる運動体験を充実させるのはどうか。

参加者：アスリートを招いて様々なスポーツイベントを実施しているとのことだが、単発のイベントではなく、継続的なイベントに繋がれば良いと思う。

<区民参画>

参加者：施設・人材の確保をするためにスポーツ大会をリモートで実施し、一つの場所に集まらずに大会を開催できるようにすると良いと思う。

参加者：スポーツをするきっかけ作りとして、スポーツイベントの参加者にポイントを付与することでより多くの方が参加するのではないかと。また、区と区民が連携し、スポーツ大会等を企画、開催すると良いのではないかと。

参加者：各国の大使館や商工会議所と連携し、外国の方の意見やアイデアを参考にするのはどうか。

参加者：スポーツを身近に増やすため、スポーカル活動の拡大や地域（町会や自治会等）のスポーツイベントの開催を協力するなど、町会・自治会の活動の活性化に力を入れると良いのではないかと。

3 その他

リーダーより次回の開催日程等の確認を行った。

(閉会)

リーダーが第3回グループ会議の閉会を告げ、終了。

以上

みなとタウンフォーラム
生涯学習・スポーツグループ（第8グループ）

会議録（第4回）

■開催日時・場所・出席者

日 時 : 令和4年11月15日（火）18時30分～20時30分

会 場 : 港区役所9階 911会議室

メンバー: 7名（欠席4名）

事務局 : 対応部門関係課長1名（図書文化財課長）、企画課グループ担当2名、サポートメンバー2名、委託事業者2名

■次第

（開会）

- 1 前回(第3回グループ会議)の振り返り
- 2 検討テーマに関する議論
 - ・将来像(めざすまちの姿)と社会変化の検討
 - ・実現に向けた課題と施策の方向性
 - ・具体的な取組と区民参画の検討

3 その他

（閉会）

■配付資料

資料番号	資料名
1	第3回グループ会議 会議録
2	第4回グループ会議の進め方

■貸与資料

資料番号	資料名
1	港区基本計画・港区実施計画

■会議要旨

(開会)

リーダーより、第4回グループ会議開催に当たっての挨拶及び開会宣言を行った。

1 前回(第3回グループ会議)の振り返り

事務局から、配付資料1に基づき、第3回のグループ会議の振り返りを行った。

2 検討テーマに関する議論

第4回グループ会議では、図書について付箋に「社会変化」「将来像」「取組内容」「区民参画」についての意見をそれぞれ記載し、発表することとなった。

事務局から図書の現状と課題について、電子図書館や人気図書の貸出等の説明をした。

参加者：図書館の運営事業者によって、運営方針が異なることがあるか。

事務局：区立図書館は指定管理者制度を導入しており、2者に運営を担ってもらっているが、運営方針が異なることはない。

参加者：図書館は静かにしなければならないが、もっと手軽に交流が出来るような場などを提供できると良いのではないか。

事務局：電子機器が利用できる部屋や勉強ができる部屋がある。また、三田図書館では、話しながら勉強ができるグループ学習室を設けている。

参加者：図書館で使えるようなタブレットの貸出は行っているのか。

事務局：現段階では、貸出は行っていない。

(1) 将来像(めざすまちの姿)と社会変化の検討

○社会変化

第3回グループ会議の意見に加え、「活字離れ」「動画普及」「持続可能社会」等のキーワードが出た。

○将来像

参加者：学ぶことができる身近な環境を提供し、生涯を通して付き合える図書館を目指していくべきだと思う。

参加者：社会や時代の変化による再編が必要ではないか。

参加者：図書館内で地域交流の場を積極的に提供していくべきだと思う。勉強だけでなく、文化交流を深めることで人間の幅が広がっていくのではないか。

参加者：本を読むだけでなく、イベントに力を入れることで知的好奇心が刺激され、区民が潤うまちに繋がっていくと思う。

参加者：同じテーマの研究や勉強をしたい人が集い、グループ学習ができる場所の提供や情報の発信基地となるような図書館を目指していくべきではないか。

参加者：最近では誤った情報も多く、何が正しくて間違っているのかを自分で考え、より良い選択ができるよう、区民をサポートするまちを目指していくと良いと思う。また、若者は読書離れの傾向にあるため、読書する習慣を身に着けられるよう工夫していくべきだと思う。

(2) 実現に向けた課題と施策の方向性

図書館の主な課題として、「(本の貸出し以外の) 図書館事業の周知」「電子図書館のニーズ把握」「活字離れ」が挙げられた。

参加者：本を借りる以外のサービスが知られていないと思うので、それらの周知に力を入れるべきだと思う。また、外国人への対応が十分ではないと思う。

参加者：図書館に行くモチベーションが湧かないので、行かない人が行こうと思えるような取組等が必要だと思う。

参加者：図書館が保有していない図書についても、取り寄せて貸出しができれば良いのではないか。

参加者：本を借りたくても、人気な本はなかなか借りられないことが課題だと思う。

(3) 具体的な取組と区民参画の検討

○取組内容

参加者：施設の利用時間やレイアウトなど施設に関することや民間施設と提携・連携に力を入れて取り組んでいくべきだと思う。

参加者：子ども向け、高齢者向けなどターゲットを限定した朗読会を実施すると良いと思う。

参加者：ホームページを充実させることや電子図書館を積極的に周知することで図書館サービスの認知に繋がると思う。

参加者：カフェの併設や飲食を可能にすることによって図書館に行くモチベーションが上がるのではないか。

参加者：本を借りる以外に、区民同士で情報交換や交流できる機会を提供するのはどうか。新刊図書のセミナーや人気図書の作家を呼びトークイベントを実施することで本に興味を持つきっかけになると思う。

参加者：区立小・中学校も巻き込んで、電子図書を一つに集中させることで、読みたい本の待ち時間が少なく、様々な本を読めるようになるのではないか。

参加者：人気の本を効率よく読める仕組みをつくと良いと思う。例えば、本の増量や、返却ボックスの導入、新刊の本を有料(100円など)にして優先的に読めるようにするのはどうか。

○区民参画

参加者：利用頻度に応じたポイントの付与や大学等との図書館と連携し、情報共有することで、図書館をより利用したくなると思う。

参加者：大学等の学生朗読ボランティアを推進し、施設やスタジオを優先的に貸し出すことで区民参画に繋がるとは思わないか。

参加者：SNSによる広報やマンションの掲示板の周知、図書館入口でのサービス内容の掲示などにより、図書館の魅力を周知すると良いと思う。

参加者：民間企業と連携することで、飲食ができるカフェ事業などが実現できるのではないか。

参加者：リモート参加可能なイベントの実施や、指定管理者と区民が意見交換を行い、イベントを企画するなどの取組を実施してはどうか。

3 その他

リーダーより次回の開催日程等の確認を行った。

(閉会)

リーダーが第4回グループ会議の閉会を告げ、終了。

以上

みなとタウンフォーラム
生涯学習・スポーツグループ（第8グループ）

会議録（第5回）

■開催日時・場所・出席者

日 時 : 令和4年12月6日（火）18時30分～20時30分

会 場 : 港区役所9階 研修室

メンバー：9名（欠席2名）

事務局 : 対応部門関係課長1名（教育長室長）、企画課グループ担当2名、サポートメンバー2名、
委託事業者2名

■次第

（開会）

- 1 第5回グループ会議の進め方について
- 2 第2回～4回目の内容確認について
- 3 テーマ1「生涯学習」のまとめ
- 4 その他

（閉会）

■配付資料

資料番号	資料名
1	第4回グループ会議 会議録
2-1	テーマ1「生涯学習」
2-2	テーマ2「スポーツ」
2-3	テーマ3「図書館」
参考資料1	提言の構成について
参考資料2	前回提言書

■貸与資料

資料番号	資料名
1	港区基本計画・港区実施計画

■会議要旨

(開会)

リーダーより、第5回グループ会議開催に当たっての挨拶及び開会宣言を行った。

1 第5回グループ会議の進め方について

第2回のグループ会議のテーマ「生涯学習」について出た意見を基に第5回のグループ会議では、意見のまとめ作業や提言の方向性を定めてもらう。

2 第2回～4回目の内容確認について

第2回～4回目に出た意見を基に事務局で作成した配付資料2-1、2-2、2-3の内容を各自確認した。

(主な意見等)

参加者：「国際」という言葉が多く出てくるので、提言書に反映すれば、港区らしい提言になるのではないか。

3 テーマ1「生涯学習」のまとめ

「生涯学習」のめざすべきまちの姿(将来像)は、「多様な価値観を持つ港区民の誰もが、いつでも気軽に自主的な学びができる。」と「国際色豊かで多彩な人々がいる港区ならではの学びの場づくりができる。」にまとまった。

施策の方向性は、「いつでも気軽に生涯学習施設を活用できるよう、周知と参加をサポートしていく」「区民が学んだことを生かす場と交流の充実」「多様な区民のニーズにあった、生涯学習で取り組みたい学びを拡充していく」「国際色豊かで多彩な人々がいる港区らしさの優位性の活用」の4つの意見にまとまった。

○めざすべきまちの姿(将来像)

(主な意見等)

参加者：港区は、大使館や外資系企業が多いが国際的なまちと一括りの表現にするのはいかがなものか。別の良い表現がないだろうか。

参加者：「世界の国々の人がある」という表現はどうか。

参加者：「国々」を「多彩」という言葉に言い換えるのはどうか。「多彩」という表現であれば、外国籍の方や障害を持つ方など様々な人々がいるという表現になるのではないか。

参加者：「港区民が」を「港区民の誰もが」に修正し、多様な人々への取組としていくのはどうか。

○施策の方向性

(主な意見等)

参加者：「区民が学んだことを生かす場と交流の充実」について、企業や行政など、学んだことと欲しいニーズをマッチングさせる取組を追加すると良いのではないか。

参加者：施策の方向性にある「多様な区民のニーズにあった、生涯学習で取り組みたい学びを拡充していく」に、具体的な取組として、「教えたい」と「学びたい」をつなぐネットワークをつくる取組を追加するのはどうか。

参加者：小さい子どもから高齢者まで障害者について実際に体験・学習ができるように障害者教育

を充実させるべきだと思う。

参加者：めざすべきまちの姿に「国際」というキーワードが含まれているので、「国際」に関連した施策の方向性を追加するのはどうか。課題として、生涯学習分野の施策で、多くの異国文化を学ぶ機会が充実していないように感じる。そのため、ライフステージ別学習の充実や、大使館や外国人との交流に取り組んでいくのはどうか。

参加者：学校教育だけでは英語の習得が難しく、塾やインターナショナルスクールに通っている人も多い。最低限の会話ができるよう、生涯学習分野をはじめとした言語の習得機会を充実するべきではないか。

4 その他

リーダーより次回の開催日程等の確認を行った。

(閉会)

リーダーが第5回グループ会議の閉会を告げ、終了。

以上

みなとタウンフォーラム
生涯学習・スポーツグループ（第8グループ）

会議録（第6回）

■開催日時・場所・出席者

日 時 : 令和4年12月20日（火）18時30分～20時30分

会 場 : 港区役所9階 911会議室

メンバー : 7名（欠席4名）

事務局 : 対応部門関係課長1名（教育長室長）、企画課グループ担当2名、サポートメンバー2名、
委託事業者2名

■次第

（開会）

- 1 第6回グループ会議の進め方について
- 2 テーマ2「スポーツ」のまとめ
- 3 テーマ3「図書館」のまとめ
- 4 その他

（閉会）

■配付資料

資料番号	資料名
1	第5回グループ会議 会議録
2-1	テーマ2「スポーツ」
2-2	テーマ3「図書館」

■貸与資料

資料番号	資料名
1	港区基本計画・港区実施計画

■会議要旨

(開会)

リーダーより、第6回グループ会議開催に当たっての挨拶及び開会宣言を行った。

1 第6回グループ会議の進め方について

第3回、第4回のグループ会議のテーマ「スポーツ」「図書館」について出た意見を基に第6回のグループ会議では、意見のまとめ作業や提言の方向性を定めてもらう。

2 テーマ2「スポーツ」のまとめ

「スポーツ」のめざすべきまちの姿(将来像)は、「より多くの人の生活にスポーツが溶け込み、誰もがやりたい時に自分にあったスポーツを、気軽に楽しく参加し健康になる。また、(トップアスリートとの支援や交流)スポーツ・パラスポーツ体験を通して(SDGsを実現する、多様性、国際)交流を推進する。」にまとまった。

施策の方向性は、「誰もが自分がやりたい時に自分にあったスポーツに親しむ環境やきっかけを作り、健康増進につなげる」「国際交流やパラスポーツなど、(トップアスリートとの支援や交流)スポーツ体験を通じ多様な人が垣根を越えた交流を推進する」「既にある港区のスポーツ活動をより多くの人に知ってもらう仕掛けづくり」の3つの意見にまとまった。

○めざすべきまちの姿(将来像)

(主な意見等)

参加者：アスリートに関連することも含めると良いのではないかな。

事務局：佐賀県では、世界に挑戦するトップアスリートの育成に取り組んでおり、全国大会や世界大会での活躍が期待されるアスリートを認定、支援している。

参加者：港区では、「国際」というキーワードは欠かせないと思う。

事務局：施策の方向性で「国際」について具体的に掲げるのはどうか。

参加者：それぞれの生活の中により、スポーツを身近に感じられるような表現を加えると良いのではないかな。

参加者：港区の特徴的なスポーツや港区で盛んなスポーツはあるか。ラグビー場が港区にあると伺ったがどうか。

事務局：港区は、公益財団法人日本ラグビーフットボール協会と協定を結んでおり、イベント等を実施している。また、東京2020大会では、お台場海浜公園がトライアスロンとマラソンスイミングの競技会場になった。

○施策の方向性

(主な意見等)

参加者：スポーツに参加しやすくなるような仕組み作りが必要ではないかな。スポーツを実施していることは知っていても、なかなか参加するまでに至らない区民がいるように思う。例えば、参加しやすい時間帯や未就学児も参加できるようなイベントを実施するのはどうか。

参加者：障害を持っている方もスポーツ施設をより利用しやすくする工夫が必要だと思う。また、自転車を楽しめる時間を定期的につくるとスポーツを楽しめる機会が増えるのではないかな。例えば、小学生を対象に英語を公用語としてフットサルやサッカーイベントを実施する

のはどうか。外国人児童も交えて実施することで英語がより身につくと思う。

参加者：トップアスリートの育成は、国や東京都の規模で実施される印象があり、区の規模ではできないことも限られるのではないかと。支援や発掘なら可能かもしれない。

参加者：幅広い世代において「健康増進」は大事なキーワードだと思う。最近では、オンラインで働く方も多く、運動する機会が減っているように感じる。

3 テーマ3「図書館」のまとめ

「図書館」のめざすべきまちの姿（将来像）は、「図書館を学びの場とし、デジタル化を推進することで、交流や情報の発信を拡充させる。」「生涯を通じて、知的好奇心が刺激される」にまとまった。

施策の方向性は、「利用者のニーズにあった施設の運営し、効率よく本を借りられる仕組みづくり」「本を借りる以外の学びの場として、交流や情報の発信基地などの図書館サービスの拡充」「電子図書館サービスの認知度の向上と、取り扱い図書を拡大・強化していく」「図書の朗読サービスを拡充することで、誰もが読書に親しむようにする。」の4つの意見にまとまった。

○めざすべきまちの姿(将来像)

(主な意見等)

参加者：従来の図書館機能を残しつつ、図書のデジタル化を推進させていく必要があるのでは。

参加者：本をいろんな図書館に分散させるよりも電子図書にまとめた方が読みたい本を気軽に受けやすくなると思う。空いたスペースを利用して、図書館で交流できるスペースを増やすと良いのではないかと。

○施策の方向性

(主な意見等)

事務局：第4回グループ会議の際に、新刊や人気図書を借りる際に一部有料にしてはどうかという意見が出たが、図書館法第17条では、「公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。」と記載されているため、実現は困難。

参加者：人気のある本や手に入りにくい本を寄贈するなど、循環できる仕組みがあると良いと思う。古い本は捨てられることが多いのでリサイクルできると良いのではないかと。

参加者：人気図書は貸し出しの順番待ちのとき間が長く、借りるタイミングを選べない。自分が借りる番が来ても、忙しくて読めないときもある。その際、次の人に順番を譲る仕組みができると、自分が読めるタイミングで本を借りられるので便利になるのではないかと。

参加者：子どもから高齢者、障害者まで読書を慣れ親しんでもらうとあるが、読書に興味がない人は読まないのではないかと。プロのナレーターによる朗読など、図書の朗読サービスが充実すると読書にあまり関心がない方でも読むきっかけになると思う。また、視覚障害者向けの朗読サービスもあると便利ではないかと。

参加者：子ども向けの朗読会はよく聞かすが、子どもが朗読する機会をつくるのはどうか。

参加者：大人向けの読み聞かせもあると良いのではないかと。

4 その他

リーダーより次回の開催日程等の確認を行った。

(閉会)

リーダーが第6回グループ会議の閉会を告げ、終了。

以上

みなとタウンフォーラム
生涯学習・スポーツグループ（第8グループ）

会議録（第7回）

■開催日時・場所・出席者

日時：令和5年1月10日（火）18時30分～20時30分

会場：港区役所9階 912会議室

メンバー：8名（欠席3名）

事務局：対応部門関係課長1名（教育長室長）、企画課グループ担当2名、サポートメンバー2名、
委託事業者2名

■次第

（開会）

- 1 第7回グループ会議の進め方について
- 2 提言書（案）について
- 3 その他

（閉会）

■配付資料

資料番号	資料名
1	第6回グループ会議 会議録
2	生涯学習・スポーツグループ提言書（案）
参考資料	グループ意見一覧（テーマ1～3）

■貸与資料

資料番号	資料名
1	港区基本計画・港区実施計画

■会議要旨

(開会)

リーダーより、第7回グループ会議開催に当たっての挨拶及び開会宣言を行った。

1 第7回グループ会議の進め方について

第7回グループ会議では、グループ会議のテーマ「生涯学習」「スポーツ」「図書館」で出た意見を基に作成した提言書の内容確認や文言の修正を行う。

2 提言書(案)について

(1) テーマ1「生涯学習」

○具体的な取組

(主な意見等)

参加者：「(2) 区民が学んだことを生かす場と交流の充実」の取組で「区民の『教えたい』と『学びたい』をつなぐネットワークをつくる」とあるが、ネットワークという表現だと教えた人が一方通行になってしまうように感じる。教えたい人と学びたい人がマッチングできるような仕組み作りが必要ではないか。

参加者：教えたいや学びたいだけでなく、得意分野を活用したい人がマッチングできるとより良くなるのではないか。

参加者：「(4) 国際色豊かで多彩な人々がいる港区らしさの優位性を活用する」の取組は、「外国人に対する日本を知る(学ぶ)講座」に具体的な講座の例を記載すると良いのではないか。例えば、「やさしい日本語講座」などはどうか。

事務局：「やさしい日本語講座」の例だと、言語学習に限定した表現になるのではないか。言語だけでなく、日本の文化や伝統なども含んだ講座という意味で認識していただきたい。

参加者：生涯学習・スポーツの分野ではないかもしれないが、小・中学生の英語教育については、港区にしかできない取組を進めていく必要がある。

事務局：本グループの検討分野は生涯学習・スポーツであるため、国際化の視点を取り入れた生涯学習の充実として、要素を取り入れた提言とすることで進めていく。

(2) テーマ2「スポーツ」

○実現に向けた課題

(主な意見等)

参加者：「健康増進の重要性が区民に伝わっていない」と課題にあるが、健康増進が重要なことは理解できているはずである。「健康増進の効果や重要性について周知する」という表現に変更すると良いのではないか。

○施策の方向性

(主な意見等)

参加者：「(2) トップアスリートやトップチームとのスポーツ・パラスポーツの体験や交流などを通して、多様な人が垣根を越えた交流を図る」のトップアスリートという表現を詳しく、「オリンピック、パラリンピアン、プロスポーツ選手」に変更すると良いと思う。

参加者：前回のグループ会議の際にでた、トップアスリートの発掘についても具体的な取組に追加

した方が良いのではないか。

○具体的な取組

(主な意見等)

参加者：「(2) トップアスリートやトップチームとのスポーツ・パラスポーツの体験や交流などを通して、多様な人が垣根を越えた交流を図る」の具体的な取組に「パラスポーツ/ゆるスポーツ/e スポーツの普及」とあるが、パラスポーツやゆるスポーツ、e スポーツを通して誰もがスポーツを楽しめる場の提供ができると良いと思う。

(3) テーマ3「図書館」

○具体的な取組

(主な意見等)

参加者：「(1) 利用者のニーズにあった施設を運営し、効率よく本を借りられる仕組みづくり」の具体的な取組に「利用者の趣味や嗜好に合った書籍やコンテンツが借りられる仕組みづくり」とあるが、借りられる仕組みづくりという表現ではなく、書籍やコンテンツを豊富に取り揃えるという表現が良いのではないか。

参加者：「(4) 子どもから高齢者・障害者など多様な人に『読書』に慣れ親しんでもらうきっかけづくり」の具体的な取組に「高齢者・障害者などを対象とした朗読会や録音図書を充実させる」とあるが、対象を絞ることで交流の幅が減ってしまうのではないか。また、学生による朗読会の機会を設けることで読書に親しむきっかけになると思う。

参加者：図書の予約について、予約の順番が回ってきたときに、忙しく本を読む時間がない場合もある。その際、順番待ちを一つ後ろにずらすなど、予約の運用の見直しができないか。

3 その他

リーダーより次回の開催日程等の確認を行った。

(閉会)

リーダーが第7回グループ会議の閉会を告げ、終了。

以上

みなとタウンフォーラム
生涯学習・スポーツグループ（第8グループ）

会議録（第8回）

■開催日時・場所・出席者

日 時 : 令和5年1月24日（火）18時30分～20時30分

会 場 : 港区役所9階 915会議室

メンバー : 8名（欠席3名）

事務局 : 対応部門関係課長1名（教育長室長）、企画課グループ担当2名、サポートメンバー2名、
委託事業者2名

■次第

（開会）

- 1 第8回グループ会議の進め方について
- 2 提言書案の調整について（テーマ1～3）
- 3 その他資料の確認について
 - ・「提言に当たって」のページ
 - ・提言書発表スライド
- 4 その他

（閉会）

■配付資料

資料番号	資料名
1	第7回グループ会議 議事録
2	提言書（案）
3	みなとタウンフォーラム提言式に向けた進め方について
4	提言に当たって（案）
5	提言書発表資料（案）

■貸与資料

資料番号	資料名
1	港区基本計画・港区実施計画

■会議要旨

(開会)

リーダーより、第8回グループ会議開催に当たっての挨拶及び開会宣言を行った。

1 第8回グループ会議の進め方について

第8回グループ会議では、グループ会議のテーマ「生涯学習」「スポーツ」「図書館」で出た意見を基に作成した提言書の内容確認や文言の修正を行う。

2 提言書案の調整について

(1) テーマ1「生涯学習」

○具体的な取組

(主な意見等)

事務局：第7回グループ会議で「(4) 国際色豊かで多彩な人々がいる港区らしさの優位性を活用する」の施策の方向性と具体的な取組があっていないという意見があったため、「(3) 多様な区民のニーズにあった、生涯学習で取り組みたい学びを拡充していく」と統合し、「(3) 国際色豊かで多彩な区民のニーズにあった、生涯学習で取り組みたい学びを拡充していく」に変更した。

統合した施策の方向性には、具体的な取組として「国際色豊かで多彩な人々がいる港区ならではの講座の充実」とあるが、「港区ならではの講座」とはどのような講座をイメージしているか確認、共有したい。

参加者：港区の歴史や文化を学ぶ講座があると良いのではないかと。また、港区は大使館が多いので、区民が外国を知る講座を充実させると良いと思う。

参加者：若年者へ向けた英語教育を充実させるため、国際学級の創設が必要ではないかと。

事務局：本グループの検討テーマとは異なる意見だが、「(港区の在住外国人と連携するなど) 区民が生きた外国語にふれる機会の創出」として、具体的な取組に追加するのはどうか。

参加者：承知した。

(2) テーマ2「スポーツ」

○具体的な取組

(主な意見等)

事務局：第7回グループ会議の施策の方向性「(2) トップアスリートやトップチームとのスポーツ・パラスポーツの体験や交流などを通して、多様な人が垣根を越えた交流を図る」について、具体的な内容は施策名ではなく取組に記載し、施策の内容を包括する表現として、「(2) 文化の違いや国際、年齢、障害の有無にかかわらずスポーツを通じて多様な人の交流機会を創出する」に変更した。また、「(2) 文化の違いや国際、年齢、障害の有無にかかわらずスポーツを通じて多様な人の交流機会を創出する」の具体的な取組に第7回グループ会議では、英語を通じたフットサル等による交流の意見が出たが、フットサルに限定せず、様々なスポーツの可能性のあることや、国際交流が趣旨であることを踏まえ、「言語や文化を超えた国際交流につながるようなスポーツイベントの開催」という表現に変更した。

参加者：承知した。

参加者：「(3) 既にある港区のスポーツ活動をより多くの人に知ってもらうための仕掛けをつくる」の具体的な取組「気軽に参加できる仕組みづくり」は、施策の方向性の「(1) 誰もが気軽に参加したいときに自分に合ったスポーツに親しむ環境やきっかけをつくり、健康増進につなげる」に同一なので、統合したほうがいいのではないかと。

事務局：該当部分を(1)に統合する。

(3) テーマ3「図書館」

○具体的な取組

(主な意見等)

事務局：第7回グループ会議で、図書の予約の順番が回ってきたときに順番を一つ後ろにずらす等の予約運用の見直しができないかという意見が出たが、順番を一つ後ろにずらしたとしても、すぐに別の本が返却される場合等もある。意見の趣旨は、人気図書も含め、なるべく自分が借りたいタイミングで借りられるようにすることにあり、定期的に利用者アンケート等を実施し、運用ルールの見直しを検討しているため、今回の意見も踏まえて、提言書には、「利用者の意見をふまえた、効率的な本の貸出ができるルールづくり」という記載でどうか。

参加者：承知した。

3 その他資料の確認について

○「提言に当たって」のページ

参加者：パラスポーツは、周りとの協力が特に必要なスポーツなので、体験することで、生活の中でもより思いやりを持った行動ができるのではないかと。

参加者：パラスポーツを体感することで、誰もが全ての人にやさしく思いやりを持って行動できるまちになってほしい。

参加者：港区の人口は、24万人以上いるので、同じ趣味や娯楽を楽しみたい人は少なくとも数百人はいるのではないかと。その中で数十人から数百人規模でのスポーツイベントを実現できるようになってほしい。

参加者：生涯学習・スポーツ・図書館は、区民生活に直結しないが、心の豊かさを得るために必要だと思うので、区民が心身ともに健康でそれぞれの豊かさを享受できるまちになってほしい。

参加者：どのような状況でも誰もが能力を発揮し、活躍できるよう後押しする社会になってほしい。

参加者：港区ならではの環境を活かし、スポーツイベント等を通じ、若年者に生きた英語を浴びてほしい。

参加者：港区は、大使館が多く国際豊かなまちだが、地域資源を活かしきれていない部分があると思うので、港区でしか経験できないような様々な体験ができるグローバルなまちになってほしい。

参加者：健康な区民が増え、健康寿命が延びる区を実現してもらいたい。健康寿命が延びると区の財源が増えるのではないかと。

参加者：区で既にやっていること、新たな提言によって実現されたことを区民に周知し、区民が各事業やイベント等に自由に参加でき、その中で楽しく交流し、いきいきと暮らせるまちを

目指したい。

○提言に当たって(案)

参加者：提言書前文の案に行政だけでなく、町会・自治会や市民団体等と連携し、取組を推進していくことが大切だとあるが、第8グループのグループ会議では、区のイベント等に積極的に協力したいとの意見もよく出ていたので、今回のみなたタウンフォーラムをきっかけに、私たちも今後区の事業等へ意欲的に参加していきたいと文案に追加するのはどうか。

全員：異議なし。

4 その他

これまでのグループ会議の感想を参加者から一人一言話した。

リーダーよりみなたタウンフォーラム提言式の開催日程等の確認を行った。

(閉会)

リーダーが第8回グループ会議の閉会を告げ、終了。

以上